

部局名	教育委員会	所属名	教育総務課	所属長名	綿貫 正	電 話	481-0300
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3411		事務事業名称	中学校教育振興事業					短縮コード	経常	3411	臨時	3824
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		教育基本法及び学校教育法 八千代市補助金交付条例, 八千代市立小・中学校クラブ活動補助金交付要領							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
法律制定時から開始 中学校11校の教育に必要な各種教材等の整備を行い、教育の振興を図っている。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして					
補助制度の廃止に伴い、標準教材備品の充足率は低くなっている。						大項目（節）	01	学校教育					
						中 項 目	02	義務教育					
						小項目（施策）	01	教育環境の整備					
						細 項 目	02	施設・設備の整備					
				実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	八千代市立中学校の生徒の教材・図書 八千代市立中学校のクラブ活動							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： ①教材・図書の予算の積算及び予算の執行に係わる事務②学校配当の積算, 予算書の作成及び支出負担行為の検収並びに支出票起票③教材等の一括購入業務④クラブ活動補助金に係わる事務							
	※平成19年度に計画していること： 1 8 年度と同様							
意図 （何を狙っているのか）	教材・図書のより良い選定と予算の効率的な執行 大会等に出場する生徒に旅費等の補助							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	快適な教育環境の整備を図る							
区 分				単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	教材備品の配置を要する件数	件	57	60	60	60	
	指標 2	図書標準冊数	冊	91, 786	112, 240	113, 040	116, 000	
	指標 3	大会に参加するクラブ活動件数	件	5	0	1	0	
活動指標	指標 1	教材備品の配置件数	件	57	60	60	60	
	指標 2	図書購入冊数	冊	3, 098	3, 000	3, 334	3, 000	
	指標 3	大会へ参加したクラブ活動への補助金交付件数	件	5	0	1	0	
成果指標	指標 1	教材備品の充足率	%	100	100	100	100	
	指標 2	現有蔵書数／図書標準冊数	%	82	84. 4	84. 1	85	
	指標 3	補助金の交付金額／大会に参加するクラブ活動に要する旅費	%	100	100	100	100	
上位成果指標	指標 1	学校施設・設備が充実していると感じている市民の割合	%			26. 2		
	指標 2							
	指標 3							

コード		3411	事務事業名称	中学校教育振興事業			所属名	教育総務課
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円		0			
		県	千円		0			
		地方債	千円		0			
		一般財源	千円	2,609	14,952	14,541	18,372	
		その他	千円	0	0			
	主な事業費の内訳			中学校11校の教材・図書備品費。 クラブ活動補助金	備品購入費・消耗品費	中学校11校の教材・図書備品費。 クラブ活動補助金 報償費176千円消耗品費8,249千円 備品購入費6,112千円補助金4千円	中学校11校の教材・図書備品費。 クラブ活動補助金 報償費195千円消耗品費9,477千円 備品購入費8,700千円補助金1千円	
	人件費(B)			千円	9,120.9	9,106.3	8,762.3	
トータルコスト(A)+(B)			千円		11,729.9	24,058.3	23,303.3	
							27,134.3	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	上位の政策「快適な教育環境の整備を図る」を推進するため、中学校教育振興事業を実施しており、結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	学校が存続する限り、維持管理は不可欠であり、今後も継続していかなければならない。				
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	教育基本法及び学校教育法, 八千代市補助金交付規則に則ったものであるため				
			☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	所期目的に変更はなく、現状の対象・意図の設定で結果に結びつく。				
			☐ 見直す必要がある					
			☐ 評価対象外事項					
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	予算の積算や学校への配当事務, 検収, 補助金の審査等、最善を尽くしている。				
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☒ 可能性がない					
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等					
			☐ 臨時的任用職員等の活用					
			☐ I T化等業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
			☐ 類似事業との統合・役割見直し					
			☐ 上記以外の方法	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
				2		実施主体 (所管部署)		
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある					
			☐ ない					

コード	3411	事務事業名称	中学校教育振興事業				所属名	教育総務課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			教育基本法及び学校教育法、八千代市補助金交付規則に則ったものであり、上位の施策を達成するためには継続する必要がある。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現状のまま継続して行く。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
地方交付税うち、図書算入分に対して需要相当額を図書購入費に充当すべきではないかという意見が議会よりあった。	

所属長コメント	学校教育内容の充実に直接係わる事業であり, 更なる充実が必要である。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり, 現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	